

年次支部ニュース

第8号

特集



ホームカミングデー

中央を、中央へ はばたけ！ CHUO VI
第25回 中央大学ホームカミ



人生は川の流れのように

ホームカミングデー実行委員長
(学員会副会長) 大木田 守



時代の気分はハッキリ変化

自己を見つめ、見失ってしまった
本当の価値観を再び発見しようとして
いる人が増えている。

「時代の波」を見つけることに長
けている器用な人間より、「自分自
身」を「時代の波」にしてしまう気概
と熱気の持ち主が結局は支持される。

例えば 秋元康さん。その秋元康
さん(中大・文学部)が、10月22日(日)
母校・多摩校舎で開催される第26
回ホームカミングデーで、午後2時
より初めて講演。

秋元さんといえば、AKB48、乃
木坂46、櫛坂46のプロデューサー。
ほぼ全ての楽曲を作詞。日本放送作
家協会の理事長をはじめ多忙な日々。
秋元さんの「川の流れのように」

は、多くの人に感動を与えた。

歌は世につれ、世は歌につれ

歌は三分間のドラマと言われるが、
歌に思い出があり、思い出に母校が
ある。

母校・中央大学も今年創立132年。
実に多く歌が誕生。現校歌「草のみ
どり」も三曲目。

応援歌も、若き血潮みなぎる中央
大学の心意気。栄光は我らにあり、
歌うと力がみなぎる。

昭和6年～誓いの殿堂。昭和23年
～ああ中央の若き日に。昭和27年
～中大健児の歌 の三曲。

学生歌も思い出が多い。中央大学
学生歌、中大神田節、書生節、中大
五万節、大学数え歌、キャンパスソ
ング等。

8月22日、NHKラジオ「戦争と歌」
を放送。「惜別の歌」を紹介。藤江
英輔さんの中大予科の同期である三
井さんが証言。歌には不思議な力が
ある。歌うとついきのうのようにそ
の時代のことが浮かんてくる。

今回のホームカミングデーでは
「中央の歌、白門の響き」。10時よ
り式と音楽の祭典。その他、多彩な
企画を満載。

久し振りに母校でふれあう温かな
ところ、新しい出会いが豊かなこ
ろを満たす、そんな一日にしたい。

10月22日、さらなる価値と感動
の創造、こころに響くホームカミ
ングデーとして、皆さまをお迎えし
ます。楽しみにご参加下さい。

第26回 中央大学

開催日時 2017年10月22日(日) 10時～16時(予定)

開催場所 中央大学多摩キャンパス

★スペシャルイベント★ 9号館

中央大学の歌、白門の響き ～式と音楽の祭典～

《式典》 10:00～10:30 ■校歌斉唱、親子三代表彰ほか
《白門音楽会》 10:30～11:30 ■中央大学ゆかりの懐かしい
楽曲の数々紹介

スポーツ応援リレー企画

- ①東京2020オリンピック・パラリンピックへ ～中央の凱歌～
12:45～13:45 ■基調講演 青山侑氏
■パネルディスカッション
飯塚翔太氏(H26法、リオ五輪メダリスト)
大日方邦子氏(H8法、長野、ソルトレイク五輪ほか数々のメダリスト)
- ②藤原正和駅伝監督応援企画第2弾 ～箱根駅伝・わが青春
13:55～14:55 ■パネルディスカッション
藤原監督と歴代選手
- ③応援団演舞 応援歌メドレー&校歌
15:00～15:15

★特別企画★ 8号館

秋元康来る!!

〈作詞家、AKB48プロデューサー〉
14:00～15:00 ■講演 8304号

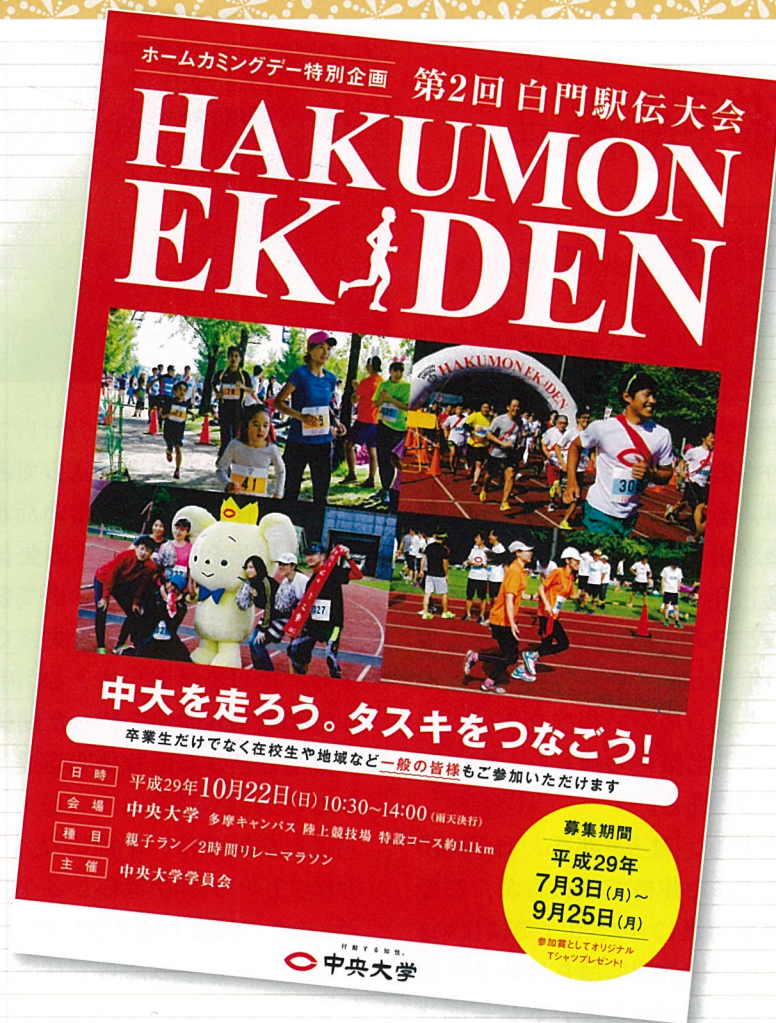
多くの有名人を輩出している中央大学の中でも秋元氏は、特異な存在といえる。日本の作詞家、放送作家、漫画原作者であり、様々のアイドルグループのプロデューサーでほぼ全ての楽曲を作詞し、番組の企画構成やドラマの脚本などを数多く手がけているマルチな才能な持ち主である。テレビ、ドラマ、映画、舞台、CM、多くの著書など、関係者で知らない人はいない。若い世代ではAKB48のプロデューサーとして有名だが、作詞家としてシングルの総売上通算(2013年2月27日付ランキングまで)で、それまで1位だった阿久悠を抜き、作詞家歴代1位になったことはご存知ない方も多し。これまで4000曲以上の曲を世に送り出してきた。その中に代表曲「川の流れるように」もある。滅多に見られない超大物ゲストの講演に是非ご来場下さい。

場所：ヒルトップ4階

★福引き大抽選会★ メインステージ

15:30～16:00(予定)

ホームカミングデーのご案内



進化系!

「第2回白門駅伝大会」に立ち会え

学員会副会長(白門駅伝担当)
山本 卓

今年もホームカミングデーに「白門駅伝」がやってくる。昨年の第1回大会では手を繋ぐ「親子ラン」、タスキを繋ぐ「リレーマラソン」に六百名が「草のみどりに風薫る」陸上競技場を駆けた、実に清々しいイベント。

しかしこの「白門駅伝」、清々しいだけでは終わらせない。「進化系駅伝」の異名をとるには訳がある。

京に向かう役人が「駅」で馬をリレー形式で乗り継いだのが由来とされる「駅伝」。そう、駅伝なら駅でタスキを繋ぐのが本望だろう。そこで目指すは「多摩都市モノレール駅伝」の実現、モノレール軌道下を走り、駅でタスキを繋ぐ。

夢を夢では終わらせない。先ず今年の陸上競技場を埋め尽くす、がその一步。集え、そして夢に立ち会え。

＜ 年次支部販売ブースのご案内 ＞

44会

白門りんごの会

りんごを食べて元気になろう!
「りんご王国青森」りんご販売!

東北支援の街おこし、地域おこしとして青森県三戸産のりんごブランドの普及・拡大への夢をのせて白門りんごの会(松木茂夫会長)が五年前に発足。ホームカミングデーには、三戸から生産者が駆けつけもぎたてりんごを販売します。毎年昼過ぎには、売り切れてしまうほどの人気!

一日の寒暖差が大きい三戸地域は、りんごが美味しく育ちます。シャキッとした触感、甘みと酸味の絶妙のバランス、その美味しさがつまった三戸りんごをご賞味ください。

白門44会ブースへ。

白門りんごの会会員併せて募集中!



毎年収穫体験ツアーへ。地元生産者や中大青森支部会との交流も楽しみのひとつ。



「白門りんごの会員」には年二回産地から直送される。

48会

中村屋カレー販売



数年前より、中村屋オリジナルカレーを直販しています。ビーフ、チキンの二種類は絶品! 安価の一皿500円で販売! 中村屋カレーの香りに誘われ一度食したら、また食べたくなる懐かしい味が忘れられず、レギュラーのお客様が増えています。完売前に是非早めにお立ち寄り下さい。お待ちしております。

《スポーツ部門》

やごたのり 矢後太規関 十両昇進おめでとう! (平成29年・法卒)



昨年12月の全日本相撲選手権大会で初優勝を果たし、アマチュア横綱としてその名を世間に知らしめ、春から魅力ある四つ相撲と持ち前の真面目な性格を見込まれて尾車部屋に入門した矢後関の快進撃が止まらない。5月の名古屋場所で全勝し、入門二場所で本学14年ぶりに幕下15枚目から、新十両に昇進という快挙を果たしたのである。9月場所より関取として土俵にあがることになった矢後関の披露を兼ねて激励の会が駿河台記念館で開催された。

中央大学からお祝いとして①化粧廻し一紺地に銀糸の校章と中央大学名入りー ②締込一校色の紺地ー ③明荷 以上3点を頂けることになり、酒井総長学長から贈呈された。

小さい頃からの夢であった角界に入る時、学生横綱になった矢後には

多くの相撲部屋から勧誘があったというが、その中で尾車部屋を選んだ最大の理由は、尊敬する豪風関(中大平成14年卒)が同部屋に所属していることであった。豪風は現在も相撲界の年長として、身体は小さい方だが、あきらめない相撲をみせてくれる現役で活躍中の頼もしい大先輩力士なのである。

矢後関も、身長186cm、体重170kgの恵まれた体格ではあるが、ここまで順風満帆にきたわけではない。膝のけがの後遺症には常に悩まされる中、他の人がやらないトレーニングや練習の多さなど日々の真面目な努力の結果なのである。中央大学在学中は大会では常に上位の成績だったが、全国優勝に及ばずにいた。最後にアマチュア横綱のタイトルをつかみ、その努力が報われる時が来た

のである。

実際、矢後関の横に立ってみると本当に身体が大きくて驚いたが、きちんと相手を見て対応する矢後関の目は、人柄の良さが滲み出ていて印象的であった。《この人は強くなるな～、なってほしいな》と。中大らしい実直な人間性を持った期待の新人力士を皆さんにも是非応援して頂きたい。

尾車部屋では、十両になると「〇〇風」という四股名をもらうそうだが、まだ二場所目なので、親方の「ヤゴがトンボになったらで良いじゃないか」というユーモア発言で〈矢後太規〉のまま9月場所にのぞむことになったそうである。

トンボになる日が待ち遠しいが、精進して苦難の道を乗り越え、立派な大関、横綱になる日が来ることを願わずにはいられない。

世陸リレーで銅メダル 飯塚翔太さん (平成26年・法卒)

オメデトウ!



2017年8月にロンドンで開催された世界陸上男子400mリレーにおいて、卒業生の飯塚翔太さん(平成26年法卒)が、見事銅メダルを獲得しました。

飯塚選手は日本チームのリーダー的な存在としてチームをまとめ、リレー種目では世界陸上初めてのメダル獲得に貢献され

ました。

卒業生の飯塚選手が2016年リオ五輪400mリレーでの銀メダルに続き、2大会連続して世界大会でのメダルを獲得されたことは、中大関係者にとっても大変名誉なことであります。

(豊田記)



左：豊田コーチ 右：飯塚選手

平成卒が 学会副会長に就いて

学会副会長 山本 卓
(平成2年支部長)

母校の学生を4年やって後、学员になる。大学生活は4年でも、学员生活は六十有余年に及ぶことも稀でない。この六十有余年、十五年を区切りに白世代、青世代、緑世代、そして黄世代と4期に分けて眺めてみるのも面白い。

学会の目的は会員相互の親睦、大学発展への寄与、そして学生支援と纏めて強ち間違っていないだろう。

白世代の三十代後半迄はモラトリアムで良からうが、四十を過ぎて五十代も半ばを窺う青世代に学生支援で一肌脱いで、と投げ掛けてはバチが当たろうか。五十代半ばから六十代後半の緑世代に大学を支えて貰って、七十を超えた黄世代には母校の話を肴に親睦に勤しんで頂く。

平成卒副会長の描く学会とは、そのようなものだ。であれば、学生支援に力を尽くさずして自身が青い時代を流す訳にはいかないだろう。

来る十一月二十五日、あの「ミス日本」とコラボした学生支援の就活講座をクレセントアカデミーで開講する。ミス日本グランプリコンテストに出場できるのは全国から選ばれた十四名。このファイナリストにしか受講の許されないメイクアップ、所作から立居振舞いを就活用にアレンジした講座、青世代の副会長だからこそ企画し得たと言えようか。青世代とは正しく学生の父母世代。青世代と父母連絡会の親和性、今後はこれが学生支援の鍵になろう。

今年のホームカミングデーから卒業二十五年目の学员に招待ハガキが届くことにもなった。今、青世代に注がれる視線は熱い。

三朝師匠 真打ち昇進オメデトウ!

中央大学落研出身で二人目の真打ちになった「春風亭三朝」さん(朝也あらため三朝)をお迎えして、57年ネット支部による恒例の落語会(年次支部協議会共催)を楽しむ会が開催された。50名の参加者が集う懇親会では、三朝さんの真打ちを祝い大盛況となった。



【春風亭三朝】

朝也改め春風亭三朝です。中央大学を卒業し、師匠春風亭一朝に入門して15年、ようやく真打ちに昇進いたしました。真打ち昇進に伴い、名前も朝也从三朝と改名いたしました。なんだか梅酒屋から豆腐屋になった気分です(笑)。

これもひとえに私を後輩ということで大変可愛がっていただき、時に

は厳しく育てていただいた白門の皆さまのお陰です。この度は私の真打ち昇進のお祝い会を催していただきまし、また2年前には私が「NHK 新人落語大賞」の大賞を受賞した時にもお祝いの会を催していただきました。白門の先輩方に祝っていただき、こんなに嬉しいことはありません。中央大学に入って本当に良かったなと改めて実感いたしました。本当にありがとうございます。これからは真打ちの名に恥じぬよう精進して参ります。

今まで皆さまには多大なご恩を受けて参りましたので、今度は私が皆さまにご恩返しをする番です。大きなご恩ですのですぐに返しきれものではありませんが精一杯がんばって参りますので、今後ともご指導ご鞭撻を末永く宜しくお願い申し上げます。

★春風亭三朝 真打披露興業

2017年11月8日(水) 開演 18:00~
中央区日本橋公会堂(日本橋劇場)で開催予定。
中大OB噺家 桂やまと、林家つる子も友情出演。

日本橋劇場落語会
春風亭三朝 真打披露

春風亭一朝 春風亭三朝 桂やまと 林家つる子

2017年11月8日(水) 開演 18:30 (開場18:00)
中央区立日本橋公会堂(日本橋劇場)

チケット料金 全席自由(税込) ※未就学児の入場はご遠慮ください。
11月2日(土) 【発売】一般: 3,000円 / 中央区民: 2,500円 【当日】 3,500円
※当日券は当日の午後1時以降に購入いただけます。 ※当日券は、中央区民を証明するものをご持参ください。
※当日券は、中央区民を証明するものをご持参ください。 ※当日券は、中央区民を証明するものをご持参ください。

●チケットぴあ: 0570-02-9999【コード: 480-450】 ●イープラス: <http://eplus.jp>
●チケットポート: 03-5561-9001 ●文芸春秋のサマダン: 03-3668-2031(9:00~17:00)

お問合わせ チケットポート 03-5561-9001 (平日10:00~18:00)

主催: 中央区立日本橋公会堂(落語会) 協賛: 日本橋劇場 後援: 中央区文化振興課 協賛: 日本橋劇場 後援: 中央区文化振興課

老いも若きも

英字新聞『白門ヘラルド』発行に奮闘

部活でも、ゼミでも、バイトでも味わえない。

日本と世界を結ぶ組織を自分たちの手で創りあげる、その醍醐味。

法学部2年 八幡 侑斗

私が所属する中央大学英字新聞学会は中央大学の学生、卒業生向けに紙面『Hakumon Herald』を発行しています。英字新聞学会は1955年、ESS（英語学会）から分岐する形で誕生しました。

しかし、学生紛争の時期から活動が停滞し2001年に一度廃部します。2012年に現役有志と旧英字新聞学会のOB・OGが協力し、非公認の団体として一から活動を再開することになりました。それから6年の活動を経て、2017年には年間の累計発行部数7000部を記録し、青山学院大学の公式英字新聞部に次ぐ日本最大規模になりました。

現在は編集長の私が中心となり、21人の部員とともに2018年の公認化に向けて活動をしています。私たちは今、11月に発行する第162号、記事の執筆、発行のための資金集めに奔走しています。

私が2年間の活動を通して気付いた、ヘラルドの魅力は自己研鑽の機会、互いに高め合える仲間と出会える環境です。

記事の執筆では元共同通信社国際部顧問の飛山将さん（昭和35年経済学部卒）、元時事通信社編集長の豊島棟克さん（昭和43年法学部卒）の添削を受けます。添削を受けた原稿はいつも赤だらけ。組織の名を背負って、読みやすい、面白い文章を書くことの難しさを日々実感しています。

営業活動では「ものを売ること、支援をしてもらうこと」の難しさを痛感しています。例えば、私が今春



内野（左側）、八幡（右側）

から始めた広告営業では、いくつもの企業に追い返され、悩む日々が多いです。

記事の執筆でも営業活動でも目立つ成果はまだ挙げることができていません。それでも、諦めず続けることができるのは切磋琢磨しあえる部員、応援してくれる先輩がいるからです。そしてヘラルドでは高校時代の部活動、大学に入ってから始めたアルバイトでは体感できなかった、「自分たちの力で新たな価値を生みだすこと」を体感できます。その達成感のおかげで、困難な状況も楽しみながら過ごすことができています。

英字新聞学会の経験を未来の自分はどうか評価するのでしょうか。少なくとも、間違っていたという評価は下さないと思います。今は「もっとできるはずだった」と未来の自分が思わないよう、仲間とともに全力疾走をするまでです。

努力と情熱のたまもの

白門グリークラブ 20回記念

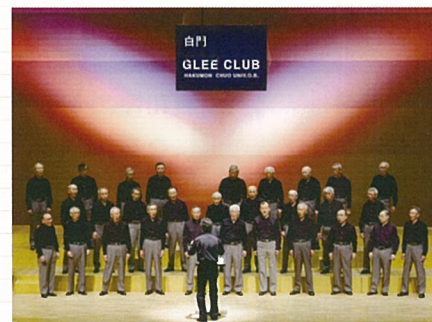
5月28日（日）14：00～北とびあ・さくらホールにて、白門グリークラブ第20回記念演奏会が満席の大盛況で開催されました（後援：北区白門会）。

創団57年目の演奏会は、小山章三作曲組曲、ソプラノソロ付き組曲やオ

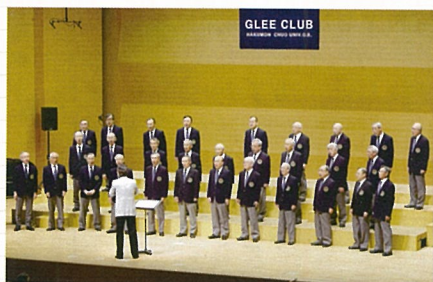


ペラからのメドレー曲、白門グリークラブ愛唱歌アラカルト、ミュージカルなどの4部構成からなり、学生数名も合流した40名の男性合唱団の深みのある歌声が最後まで観客を魅了し続けました。

1960年（昭和35年）、男性合唱への熱情止みがたい中央大学グリークラブ10名余りのOB達により創団され5年後には第1回目演奏会を開催し、その後2年に一度の演奏会を積み重ねてこられたそうです。50年の歴史の中では高度成長期での団員の仕事、転勤、ライフスタイルの変化などや、指揮者交代など途中様々な経過があったそうですが、現在、団員の平均年齢は70歳を超えています。



(中大OB男性合唱団) 演奏会開催



毎週一度の練習は欠かさず、出席率も驚くべき毎回90%以上という日々なる努力と情熱が、団員の皆さんの元気の原動力だと納得出来ました。

これまで海外遠征で中国、韓国、ハワイ等へも数回行かれ、北京放送局では同局開設60周年記念番組に出演されたり、国内でも東京都合唱コンクールには毎回出場(数回の上位入賞あり)の他に各地での演奏会、福祉コンサート、老人ホーム訪問演奏会、母校での演奏会など活発な活動をされています。男性ばかりの合唱団はどこの大学も減少傾向にあるそうですが、定期的、継続的な演奏を続ける大学OB男性合唱団としては国内最長の歴史を誇ります。

中大現役学生とのジョイントコンサート交流などで世代間の距離を縮め、団員勧誘活動も意欲的にしておりますが、今後も白門グリークラブの、未来へ繋がるご活躍を祈念しております。(S48卒、佐藤記)

取材協力：白門グリークラブ

団長 塩田勝彦氏
総務マネージャー
辰巳則夫氏



昨年に引き続き、
学員交流委員会ほか合同イベントとして、BBQ大会を7月26日(土)に千葉県勝浦市で開催した。

現地は、JR勝浦駅からほど近い場所で、周りは田畑、山に囲まれ自然が優しく感じられる里庭桂花(さとにわけいか)という果実園ガーデンは、58会初代会長の内村氏のプロデュースで、昔の蔵や古民家を改造し最近オープンした素敵な会場で



BBQパーティーに招かれて

櫻岡史子



この度は、BBQ会にお招き下さり、ありがとうございます。

私は、パンフルートを演奏しております櫻岡史子と申します。8歳から習い始め、竹の素朴で美しい音色に魅了されたのです。

パンフルートとは、葦や竹で作られるルーマニアの民族楽器でナイ(Nai)と呼ばれています。歴史は古代ギリシャ時代まで遡り、牧神パンという神様が演奏していた楽器とされ、パイプオルガンやハーモニカの



ある。少し遠い感はあるが、BBQのプロが焼いた食材やアルコールが運ばれて来るだけでもありがたいのに、今年の参加者のひとりである、若くて美しい女性が奏でるパンフルートの優しい音色にすっかり聞き惚れて、心地よい宴となった。

折角なのでそのパンフルートという珍しい楽器の紹介を別枠で本人にさせていただこう。

果実園のオーナーは女性であり、細やかなお気遣いをしてくださるので、是非来年は多くの人に参加頂ければ幸いである。

ご先祖様、世界最古の楽器とも言われています。

パンフルートを皆さまにご紹介できる機会を得たこと、大変嬉しく思っております。小川のせせらぎと小鳥のさえずりが聴こえる中での演奏に、心が踊りました。特に心に残っているのは、皆さまの歌声と共に、“花が咲く”、“故郷”などを演奏したことです。

また、参加者の方々の話がとても面白く、ご馳走になった本格的なバーベキューは、お野菜もお肉も魚介も本当に美味しくて、驚きました。至福のひと時でした。

初めてお会いしたにも関わらず、温かく迎えて下さる皆さまのお人柄に触れ、幸せな2日間となりました。

また、このような機会がございましたら、ぜひ一緒にできれば嬉しく思います。本当にありがとうございました。

活躍する学生

2017年09月05日	水 泳 部	長野凌生さん(文2) 〈2017ジャパンパラ水泳競技大会において2冠達成〉
2017年09月04日	水 泳 部	砂間敬太さん(法4) 〈第93回日本学生選手権水泳競技大会で2冠達成(200m背泳ぎは連覇)〉
2017年09月04日	ボ ー ト 部	第44回全日本大学選手権大会・男子舵手なしフォアにて2連覇達成!
2017年09月04日	自 転 車 競 技 部	第73回全日本大学対抗選手権自転車競技大会・男子チームパーシュートで優勝
2017年08月29日	女 子 卓 球 部	山本怜さん(文4) 〈第29回ユニバーシアード競技大会・卓球女子ダブルスで優勝〉
2017年08月29日	フェンシング部	江村美咲さん(法1)、向江彩伽さん(理工1) 〈第29回ユニバーシアード競技大会・女子サーブル団体で優勝〉
2017年08月22日	自 動 車 部	平成29年度全日本学生対抗ジムカーナ選手権大会において3部門優勝
2017年08月17日	弓 道 部	第65回全日本学生弓道選手権大会・男子団体戦において22年ぶり5度目の優勝

●9月9日 福井運動公園陸上競技場で行われた日本学生対抗選手権男子100メートル決勝で、世界陸上銅メダリストの桐生選手が9秒台の日本人初記録を出したが、男子100メートルリレー決勝では、桐生選手のいる東洋大学、同じく世界陸上銅メダリスト多田選手の関西大学を制して、中央大学が一位になった。やはりリレーはチーム力です。

●バレーボール 石川祐希選手(法4)は、10月上旬からイタリアのセリエA「ラティーナ」に移籍し、来年4月頃までフルタイムでリーグ戦に参加。11月28日からの全日本インカレ(東京)には一時帰国の予定。

●関東学生テニストーナメント大会
ダブルス優勝(大和田・望月組)

●6月7日 全日本学生フェンシング王座決定戦2冠達成

新規会員の参加を歓迎します!!

各年次支部は、同期会の集まりで大学、学員会会員との繋がりで活動しています。

▶スポーツ応援「陸上・水泳・野球・ラグビー他」(箱根駅伝の応援、東都大学野球応援、オリンピック選手などの応援ほか)

各年次支部の活動…好みの活動に任意に参加ができます。

▶会員間のビジネス交流で人脈の拡大、更に先輩・後輩との繋がりを醸成

▶趣味の一致で、幅広い交流とコミュニケーションの充実

▶同期生の各職専門家との交流で、信頼感をもって問題解決への導きを図る

▶講演会、セミナーなどへの参画により自身の教養などを向上させる

《加入などの問い合わせ》学員会事務局：03-3219-6175

《年次支部ニュース 第8号》 2017年10月10日 発行

発行者／中央大学学員会年次支部協議会
発行人／相場 有二
編集／年次支部協議会広報部

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学員会事務局気付
TEL 03-3219-6175
印刷所／(株)ディスカバリー